



PLATINUM

プラチナ・ジュエリー・ビジネス・レビュー 2024 Q2 報告書 要旨

〈2024年4～6月期〉

日本.....

日本では、Q1の縮小から一転して。消費の増加に支えられ景気が予想以上に拡大した。宝飾業界でも13四半期連続の売上増を記録し、明るいうもを維持している。プラチナの販売も、キヘイの牽引もあり個数ベースで増加した。PGIの主力ブランドであるプラチナ・ウーマンの上半期の売上高は、前年同期比40%以上もの増加を見せた。

中国.....

中国のQ2のGDP成長率は前年同期比4.7%増と、前期より低下した。加えて消費マインドの低迷と金価格の高騰が金宝飾品の需要を妨げた。金価格の上昇を背景に、プラチナは差別化されたカテゴリーとして注目され始め、特に5月と6月にはプラチナ・ジュエリーの需要が増加した。

アメリカ.....

アメリカ経済の好調により、プラチナは引き続き宝飾業界全体を上回る力強い伸びを示した。PGIのパートナー社は2桁の売上増を記録し、この成長軌道は2024年後半も続くと言想される。またPGIではJCKショーにおいて画期的な新プラチナ合金を発表し、業界から高い評価を得た。

インド.....

インドでは製造業が堅調に拡大する中、当期も経済の勢いを維持したが、総選挙期間中の現金移動制限や猛暑の影響により宝飾品の販売は停滞した。しかしPGIのパートナー社は6月にビジネスを回復させた。第3四半期の祝祭シーズンであるQ3の見通しは楽観的である。

「プラチナ・ジュエリー・ビジネス・レビュー (PJBR)」は、PGIが活動拠点を置く主要4か国(日本、中国、アメリカ、インド)を対象に、独立調査機関による宝飾用プラチナ需要、小売販売、業界トレンドの調査結果を、PGIが年次報告書として編纂しているものです。

当報告書の詳細な内容やデータ等は、下記PGI本部サイトからダウンロードいただけます。

(要登録/英語) <http://platinumguild.com/>